

俳句

1年目 ステップ11



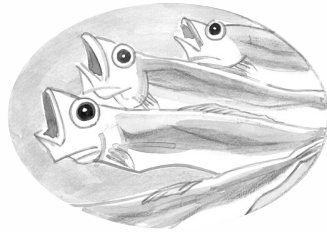
おんせい
音声はこちら

はつ ゆき 初雪や すい せん は 水仙の葉の たわむまで



まつ お ば しょう
松尾芭蕉

こ 木がらしや め ぎ 目刺しにのこる うみ いろ 海の色



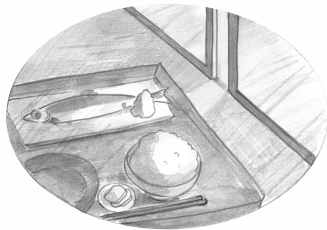
あくたがわりゅう の すけ
芥川龍之介

おの い 斧入れて か 香におどろくや ふゆ こ だち 冬木立



よ さ ふ そん
与謝蕪村

つぎ ま 次の間の ひ ぜん 灯で膳につく さむ 寒さかな



こ ばやし いっ さ
小林一茶



おんせい
音声はこちら

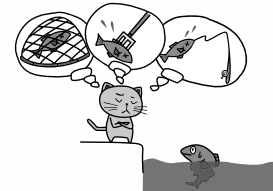
慣用句

1年目 ステップ11

あたま

頭をしぼる

おいに^{かんが}考え、^{くふう}工夫をこらす。



くち^だ
口を出す

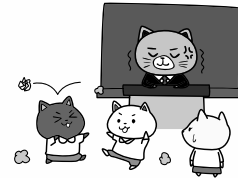
ひと^{はな}人が話しているところに^{じぶん}自分の^{いけん}意見を^さ差し挟ん^{はさ}だり^{なに}何かにつけて^{もんく}文句を^い言う。



はら

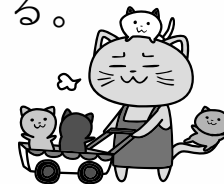
腹にすえかねる

ひどく^{はら}腹が^た立ってとても^{ゆる}許す^き気持ち^もになれない。



て
手がかかる

なに^{めんどう}何かと面倒な^{こと}事が^{おお}多くて^て手数^{すう}を^{よう}要する。



みみ

耳をそろえる

すこしの^ふ不足^{そく}もなく^{ひつよう}必要な^{きん}金額^{がく}を^{ととの}きちんと整える。





《国語辞典のうた》

国語辞典は

言葉の意味や 使い方 品詞などを調べます

のばす音を調べるときは 上の音の母音を調べる

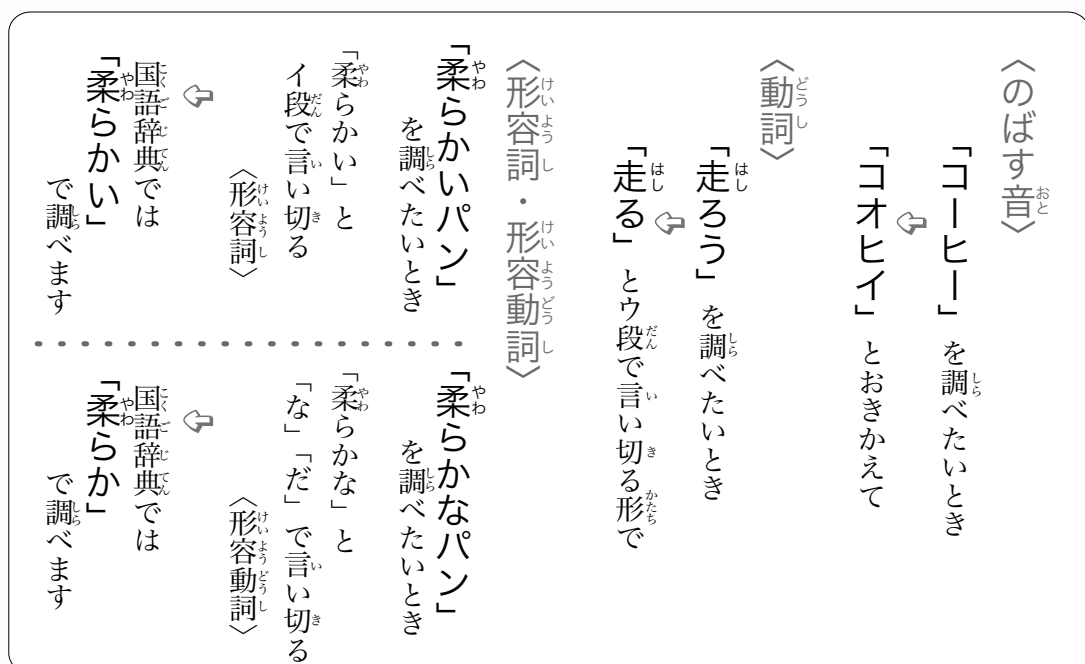
コーはコオ

活用形を調べるときは 言い切る形で調べましょう

動詞は ウ段で言い切る

形容詞は イ段で言い切る

形容動詞は 「だ」をつけて





おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ11

こ けつ い こ じ え
虎穴に入らずんば虎子を得ず
き けん おか せい こう おさ
危険を冒さなければ成功を収めることはできない
ことのたとえ。



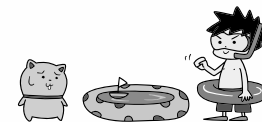
ねこ こ ばん
猫に小判
き ちよう も ぬし
貴重なものを持っても、持ち主によっては、まっ
た 価値がないということ。



おぼ もの
溺れる者はわらをもつかむ
きん きゆう ば あい たよ
緊急の場合はどんなものにでも頼るということ。



ころ さき つえ
転ばぬ先の杖
しっ ぱい じゅうぶん じゅんび
失敗のないようにあらかじめ十分に準備をしてお
くこと。



き いっ とき はじ き いっ しょう はじ
聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥
し 知らないことはそのままにせず、かなら ぎ
必ず聞きただけ
ということ。



かわ なが
かっぱの川流れ
めい じん しっ ぱい
名人も失敗することがあるということ。





おんせい
音声はこちら

吹^ふく
秋^{あき}の
草^{くさ}木^きに
むべ
山^{やま}の
風^{かぜ}を
しを^お
嵐^{あらし}と
いふ^う
らむ

(文^{ふん}屋^や康^{やす}秀^{ひで})

今^{いま}来^こむ^んと
言^いひし^と
有^{あり}明^{あけ}の
月^{つき}に
待^まち出^いで
つる^{かな}

(素^そ性^{せい}法^{ほう}師^し)

